

平成 23 年度 第 2 回能登町公共事業再評価委員会会議録

- 1 日 時 平成 24 年 2 月 1 日 (水) 13:00~14:30
- 2 場 所 能登町役場 (能都庁舎) 3 階 研修室
- 3 出席者 委 員 道下 薫、谷 紀美子、上野 峰喜、池岸 雅弘
事務局 下野総務課長、鶴垣主幹、坂本主査
説明委員 北畠課参事、大平主査
- 4 会議の概要
 - (1) 能登町公共事業の概要について
 - (2) 結果の審議、意見具申内容の検討

議事の要録

事務局 それでは、第 2 回目の能登町公共事業再評価委員会を開催させていただきます。本日は足元の悪いなか、そしてご多忙の折にご出席をいただきましてありがとうございます。

いまほど福池委員さんのほうから、急用で本日は欠席ということでございますので、会議のほうは早速進めさせていただきたいと思っております。

では、委員長さんより進行方よろしく願いいたします。

委員長 本日は寒い中ご出席いただきましてありがとうございます。

今回対象事業であります 2 件の公共事業について、皆様からのご意見をいただきたいと思っておりますので、まずは事業概要等の説明をいただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

説明員 皆さまご苦労様です。

私は、農林水産課参事の北畠と申します。主に工事関係の総括をしております。今回、対象事業について説明しますのは、林道担当であります大平主査であります。よろしく願いいたします。

(林道開設事業 赤畑線、林道舗装事業 宮地線 説明)

委員長 ありがとうございました。いまほど担当課のほうから説明がありましたが、工事の内容等で質問があればお願いします。

委員 赤畑線について、国からの補助金の見直しで工事が遅れているとのことですが、再度国から補助金の見直しがある可能性はあるのでしょうか。

説明員 平成 32 年完了予定で何とも言えませんが、現時点ではそういうことはありません。

委員 赤畑線の工事があと半分ほど残っているとの説明がありました。そのなかで、幅員を 4m から 3.5m に狭めるといっていますが、先に完了した道路は予定どおり 4m の幅で施工しているのですよね。

説明員 そうですね。

委員 4m から 3.5m であれば、極端に幅が減少するわけではないのでしょうか、途中から狭い感じになってしまいますね。

説明員 緩和区間を設けまして、少しずつ幅員を狭くしておりますので、影響はないと思われれます。

委員 当初から 3.5m の幅でもよかったのではないですか。

説明員 事業でも一定の基準がありますので、それに沿って施工しております。当時は 4m が基準でありましたが、平成 18 年に 3.5m でも可能となりましたので、現在は 3.5m で設計しております。

委員 事業目的に災害時の迂回路とありますが、災害対策は今の時代一番大事な部分であると思えますけれども、この林道がなければ迂回ができないような場所でしょうか。

説明員 赤畑線に関しましては、路線が繋がってないので、迂回という言葉は使えないのですが、現時点で迂回するとなりますと、輪島市まで行くか、もしくは柳田まで行くかになります。

それから、この効果には記載してありませんが、もし山火事があった場合、この林道を使って避難するということもありますし、山と山を分断することによって、防火帯と言いますか隣の山に火が移らないという役目もあります。

委員 人工林とありますけれども、植栽されているのは杉が主なののでしょうか。

- 説明員 そうですね。杉が全体の約7割を占めております。
話が戻りますけれども、赤畑線につきましては、開設で路線を繋ぐことを優先しております。
宮地線につきましては、国及び県からの交付金により途中まで舗装をしておりましたけれども、交付金の減少によりまして、林道の舗装については基本的にしないという方針が示されました。
しかしながら、途中まで舗装して交付金が無くなったからといって舗装をやめるわけにはいかないもので、町が単独で実施しました。
それと、宮地線は珠洲道路にアクセスできる第2、第3のアクセス道路にもなるのではないかという面もあります。
- 委 員 赤畑線については、冬季期間は積雪があつて工事ができないということで、延びているということですね。
- 説明員 そうですね。例年5月頃まで積雪がありますので、それ以降の工事となりますね。
- 委 員 赤畑線が途中まで工事が完了してはいますが、廃止された場合はどうなるのですか。
- 説明員 山林での間伐や林業作業からしますと、林道が途中で止まっていますが、その範囲内での仕事で林道としての役目は果たすことはできるかと思えます。
- 委 員 赤畑線の完了予定が平成32年度とありますが、そのままなのでしょうか。
- 説明員 いまの段階からしますと、少し早まるのかなとは思いますが。
- 委 員 宮地線については、約85%の進捗率ということですし、開設ではなく舗装工事でありますから、今後の工事はそれほど難しいものではない気がしますね。
- 説明員 ご説明した中にもありましたけれども、宮地地区に関しましては春蘭の宿がございます。
春蘭の宿のグリーンツーリズムにつきましては、県内外でも先進事例として各方面から視察に来られておりますので、林道に舗装をして通行を良くすることによって、視察の増加や、近隣の山を使った体験学習も企画される可能性もありますので期待しています。

委員長 他に質問がないようなので、担当課の事業説明を終了したいと思います。
農林水産課の皆さんありがとうございました。

(農林水産課 退席)

委員長 それでは審議に入りたいと思います。
この2件の林道事業について、委員会の意見を取りまとめたいと思いますので、ご意見がありましたらよろしくお願ひいたします。

委員 宮地線については、ほぼ完成している状態ですのでそのまま進めてもらってもいいと思います。

赤畑線については、少し引っかかっていた理由についても説明がありましたし、路線計画図を見ましても難しい区間の工事が完了しておりますから、これからスムーズに工事が進むのではないのかなと思います。

それから、この地区は他に抜けていく道がないのは事実ですので、途中でやめる理由はないのかなと思います。

委員 宮地線については舗装のみですので、そのまま実施していただければいいと思いますね。

それから赤畑線は幅員も狭めて事業費を抑制されていますし、山林火災が発生した際の消化活動ということを考えますと、そのまま実施していけばいいと思います。

委員長 地域の活性化や防災を考慮しますと、継続したほうがいいという意見が多いですので、全て事業継続ということで具申したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(全員意義なし)

委員長 それでは、町長に具申いたします。以上をもちまして委員会を終了いたします。お疲れ様でした。

(閉 会)